

令和5年度 学校関係者評価結果報告書

学校名	成田市立加良部小学校
-----	------------

1 学校教育目標

〈夢をもち 未来を拓く〉  
確かな学力を身に付け 心豊かに健康な子どもを育てる

学校関係者評価委員	
学校運営協議会	
委員長	小山内 秀明 様
副委員長	小川 拓郎 様
委員	高野 ふみ江 様
委員	永島 美紀子 様
委員	岩崎 奨子 様

2 本年度の重点化された具体的な目標

- (1) 思考し、判断し、表現する力を育てる 学習指導の充実
- (2) 思いやりや自律 心 を育てる心の教育と生徒指導の充実
- (3) たくましい心身を育てる健康・安全指導の充実
- (4) 個々の実態に応じた特別支援教育の充実
- (5) 教職員の心身の健康を維持し、児童と笑顔で向き合うための働き方改革への取組

3 自己評価結果に対する学校関係者の評価・意見等

分野・領域	評価項目	評価の指標	取組状況	改善の方策	学校関係者評価	
					自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
学習指導	子どもが「わかる、できる」学習指導の充実について、学年・学級・教科等の教育活動において、それに基づいた目標を設定し、具現化を図ることができた。	〈教職員回答〉 よくできている。13% できている。87%	A	一人一人の理解を確かめながら授業を進めるよう努めている。学習意欲を高め、学力向上を図る取組を推進していく。 学校図書館司書、読み聞かせボランティアの方による読み聞かせを継続する。	A	A
	①学校は、子どもをよく理解し、わかりやすい授業を行っている。 ②学校は、子ども同士の学び合いや表現力の育成をめざした指導をしている。	〈保護者回答〉 ①93%の保護者からあてはまるとの回答を得た。 ②95%の保護者からあてはまるとの回答を得た。	A			
学校関係者による意見等	ICTの活用がよくなってきている。ICT化に伴い、保護者が勉強量を実感できなくなっている。					
生徒指導 道徳指導	思いやりや自律心を育てる心の教育と生徒指導の充実について、学年・学級・教科等の教育活動において、それに基づいた目標を設定し、具現化を図ることができた。	〈教職員回答〉 よくできている。4.3% できている。95.7%	A	基本的な生活習慣の定着のために、家庭との連携を図れるよう取り組む。特に、挨拶については、重点項目として意識を高め、スマイルカードを用いて、感謝の気持ちをもつことやよい行いを認め合う雰囲気をつくることを継続する。	A	A
	①お父さんは、生活習慣(あいさつ、持ち物、宿題、時間を守る)が身に付いている。 ②お父さんは友達を思いやりたり、よいところを認めたりするようになってきている。	〈保護者回答〉 ①87%の保護者からあてはまるとの回答を得た。 ②98%の保護者からあてはまるとの回答を得た。	A			
学校関係者による意見等	子どもたちがとても元気で、挨拶も大きな声でできている。大きな声で発言している。活気のある活動ができていると素晴らしい。					
健康指導 安全な環境	①たくましい心身を育てる健康・安全指導の充実について、学年・学級・教科等の教育活動において、それに基づいた目標を設定し、具現化を図ることができた。 ②学校施設や設備は、教育活動によって過ごしやすいうように整備・管理されている。	〈教職員回答〉 ①よくできている。4.3% できている。95.7% ②よくできている。8.7% できている。73.9%	B	運動や外遊びを推奨している。本校恒例の縄跳び練習・検定では、異学年交流を行い、楽しく体力を向上させられるようにする。 来年度も、安全に関する訓練について、実施時期や内容を見直し、形骸化することなく、安全に過ごせるようにする。	A	A
	①お父さんは、健康状態に気を付けたり、運動や外遊びをしたりしている。 ②学校の校舎内外は整理整頓され、安全で安心して学ぶ環境づくりをしている。	〈保護者回答〉 ①90%の保護者からあてはまるとの回答を得た。 ②97%の保護者からあてはまるとの回答を得た。	A			
学校関係者による意見等	避難訓練や引き渡し訓練の方法について、より有効なものになるよう改善意識をもつことは大事である。					
特別支援教育	個々の実態に応じた特別支援教育の充実について、学年・学級・教科等の教育活動において、それに基づいた目標を設定し、具現化を図ることができた。	〈教職員回答〉 よくできている。8.7% できている。87%	A	保護者の皆様からいただいた合理的配慮の申出や学校での様子から、実態を把握し支援をしている。子どもの可能性を最大限に伸ばす特別支援教育に力を入れる。	A	A
	学校は、子どもの実態を適切に把握し、個に応じて教育活動を支援している。	〈保護者回答〉 90%の保護者からあてはまるとの回答を得た。	A			
学校関係者による意見等	個別の支援を必要としている子が増えていると感じる。					
働き方改革 保護者・地域との連携	①教職員の心身の健康を維持し、児童と笑顔で向き合うための働き方改革への取組について、それに基づいた目標を設定し、具現化を図ることができた。 ②保護者会等、保護者との関係構築のための行事・機会を適切に設けている。	〈教職員回答〉 ①よくできている。4.3% できている。69.6% ②よくできている。21.7% できている。78.3%	B	働き方改革に対する意識を高くもち、目標を設定し、振り返りを行っていく。 読み聞かせや家庭科、生活科等のボランティアを募る方法を工夫する。家庭・地域とともに加良部っ子を育てる学校づくりをめざす。	A	A
	①学校は、地域の自然や施設、人との関わり合いを取り入れた学習を進めている。 ②学校は、家庭・PTA・地域と連携し、地域全体で子どもを育てようとしている。	〈保護者回答〉 どちらの項目についても、91%の保護者からあてはまるとの回答を得た。	A			
学校関係者による意見等	ボランティア活動がさかんにされている。さらに、募集の幅を広げるとよいと思う。教職員の働き方改革(項目①)については、目標指標を組むとよい。保護者も含め、子どもたちと教職員の接点が増えるといい。					